

◆ 名古屋大学出版会 学術図書刊行助成を公募

名古屋大学出版会が、第 17 回学術図書出版助成を公募しています。中部 9 県下の大学に在職する研究者の優れた学術的研究成果で、書き下ろしの個人著作に対して、1 件 100 万円、2 件を採択する。出版会の連絡先は 052-781-5027。締切は 9 月 30 日（金）必着。

◆ 日本財団 アジア・フェローを募集

日本財団がフェローを公募している。インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイでの活動を支援するため生活費、渡航費、研究費などを支給する。募集人員は数名。締切り 8 月 31 日（水）。問合せ先は京都大学東南アジア研究所 <http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/api>

◆ 人工知能研究振興財団 研究助成を募集

上記の財団法人（名古屋市所在）が研究助成を公募している。助成金は 1 件 100 万円を限度に、毎年 9 件程度が採択されている。申請の締切は 9 月 30 日必着。応募要領等は <http://www.airpf.or.jp> からダウンロードのこと。

◆ 南京工業大学との第 3 回学術交流 終了

南京工業大学との第 3 回学術交流会が、5 月 23 日（月）～27 日（金）の間、学長の上司にあたる王卓君教授（公務委員会主任）、徐炎華教授（科技処福処長）、韓魯平教授（国際合作処長）の 3 名を迎え、特別講義、教員との学術懇談会、交換留学生との懇談などを行ったほか、万博視察にも案内した。

◆ 西村教授 環境省から委託研究を受託

西村尚之教授が、森林総合研究所を通じて受託した平成 17 年度環境省地球環境保全等試験研究「人為的要因によって小集団化した希少樹種の保全管理技術の開発」のなかのサブ・サブテーマ「シデコブシ集団の生態的保全管理技術の開発」に関する委託研究を受託した。研究は、シデコブシ自生地域内に設定した試験地において間伐を行い、諸指標の計測結果から間伐の有効性を検証する。受託金額は 74 万円。

◆ 伊豆原教授 武豊線近代化期成同盟会で講演

伊豆原浩二教授が、武豊線近代化期成同盟会（半田市）からの依頼を受け、5 月 12 日（木）開催の総会で記念講演を行った。

◆ 小川教授 地震防災評価機構の運営会議議員に

小川克郎研究科長が、(財)地震予知総合研究振興会からの委嘱を受け、同会が設置した地震防災評価機構の運営会議議員に就任した。運営会議は同機構の運営に関する意志決定機関として重要事項の審議を行う。任期は2年。

◆ 伊豆原教授 中部公共交通利用推進マネジメント協議会委員に

伊豆原浩二教授が、中部運輸局からの依頼を受け、標記協議会の委員に就任した。この協議会は、京都議定書の発効と省エネ法の改正を受け、CO₂排出量の削減を目指して設置されたもの。

◆ 池口講師 ベトナムへ出張

池口明子講師が、5月26日(木)～30日(月)の間、共同研究に打ち合わせのため、ベトナム・カントー市、カントー大学へ出張した。

◆ 和泉学部長、山本助教授 台湾へ出張

和泉潤学部長、林敬三助教授、山本佳世子助教授が、中日工程技術検討会からの要請を受け、6月12日(日)～17日(日)、講演と討論会を行うため、台北市および高雄市へ出張した。

◆ 伊豆原教授 愛知県警の交通管制システム検討会委員に

伊豆原浩二教授が愛知県警からの委嘱を受け、標記の検討会委員に就任した。信号制御、交通管制に関する施策について情報・意見の交換を行い、県警業務に反映させる。任期は18年3月まで。

◆ 小川教授 文科省研究開発学校運営指導委員会委員に

小川克郎研究科長が、名古屋大学教育学部長からの委嘱を受け、名古屋大学が文科省の指定を受けて行う「高大の連携を活かした青年期のキャリア形成に資する教育課程の研究開発」に助言と指導を行うための運営指導委員会の委員に就任した。

投稿歓迎 名産大学長室を通過する学内外のニュースを教職員と共有するため、告知板的に随時発行します。教授会・学科会議で報告すべき事項も時間節約のため、ここに掲載することがあります。また各位の情報メディアとしても気楽にご利用下さい。